

はじめの一步

7月31日(木) ~ 8月1日(金)

IN 兎和野高原野外教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設まで移動	川遊び	キャンプファイヤー
2日目	野外炊飯・思い出工作	施設出発・解散	

一日目: 快晴の中、JR尼崎駅に参加者全員が集まりました。元気よく挨拶をし、グループに分かれてからマイクロバスに乗車します。これから約三時間かけて施設へと向かいます。バス内では、二日間一緒に過ごすメンバーと顔を合わせ、少し緊張しながらも自己紹介し合う様子が見られました。施設に到着したら、玄関前広場で持参したお弁当を食べ、その後は水着に着替えて【川遊び】へ向かう準備をしました。マイクロバスで“猿尾滝”へ移動し、準備体操をしてから川に入りました。全国の滝百選に認定されているだけあって、迫力のある滝が流れており、滝壺で沢山遊びました。水の掛け合いだけでなく、グループによっては生き物探しなども楽しまれていました。みんなで一緒に川で遊ぶ事を通してどのグループも午前より打ち解けた表情を見せておられました。遊びを終え、施設に戻って着替えを済ませた後は、施設の使い方について職員の方からオリエンテーションを受けました。シーツの敷き方を学び、部屋でベツトメイキングをしたら、あっという間に夕食の時間になりました。この日の夕食は食堂でいただきました。美味しいご飯をモリモリ食べて、夜はお楽しみの【キャンプファイヤー】です。メンバーの有志が点火を行い、キャンプファイヤーが始まりました。みんなで火を囲みながら、へとへとになるまで歌って踊りました。楽しい時間をあっという間に過ぎ、名残惜しい中施設に戻って入浴の時間です。お風呂で汗を流してさっぱりしました。部屋に戻って明日の準備を済ませると、この日は体を動かす活動が多かった為か、皆さんすぐに眠りにつかれました。



二日目: 起床時間になると各部屋から元気な声が聞こえ、リーダーと挨拶を交わしておられました。身支度を終えた後は、部屋の清掃を行いました。リーダーから掃除する箇所を教わりながら、一人一人が積極的に動いておられました。清掃を終えたら、野外炊事棟に移動して朝食作りが始まります。キャンプ定番メニューの【バックサンド】をみんなで作りました。出来立てアツアツのバックサンドはとても美味しく、二個目をおかわりされる方も多かったです。お腹いっぱいになったら、最後のプログラムの【思い出工作】を行います。一人一枚木の板をガスバーナーで焼き、そこに二日間の思い出を描いていきます。ガスバーナーを初めて使用する方も多く、最初は緊張した面持ちで板を焼く姿が見られました。板を十分に焼いてからススを落とすと、木目がはっきりと浮かび上がり、その変化を楽しみながら丁寧にブラシをかけておられました。絵付けでは、川遊びやキャンプファイヤーの思い出を描く方が多く、その場面を思い出しながら作成しておられました。焼き板が完成した後は、食堂で最後の昼食をいただき、施設を出発します。最後に施設の前で集合写真を撮影した後、バスに乗り込みました。帰り際に「もう一日いたかった…」と言う声も聞こえてきました。尼崎駅で解散式を行い、共に過ごしたグループのメンバーやリーダーとの別れを惜しみつつ、また会えるようにという気持ちを込めて「まったね〜!」と挨拶をして、それぞれ帰路に着きました。



<キャンプ総括>

この度は、サマーキャンプ"はじめの一步"にご参加いただき誠に有難うございました。今回のキャンプでは、ただ楽しむだけでなく、【グループで楽しむこと】を知っていただきたいという思いを込めて、プログラムを進めて参りました。バスの中でのレクリエーションやキャンプファイヤーなど、仲間と一緒に笑い合い、協力し合う時間を通して、普段の生活では得られない体験を積むことが出来たのではないかと思います。特に、今回は高学年の参加者が少ない中でのキャンプでしたが、自ら声を掛けたり、前に立ってグループをまとめたりと、大きな一歩を踏み出す成長を間近に見ることも出来ました。その姿は他のメンバーにも良い刺激を与え、グループがより一体となるきっかけになったように感じます。帰り際には「帰りたくない!」や「めっちゃ楽しかった!」という声が多く聞かれ、皆さんにとって実りある時間になったことを大変嬉しく思いました。今回の経験が自信となり、次への挑戦や成長へと繋がっていくことを心から願っております。(三上 美海)